

Contrast enema (Japanese) - 造影注腸

Adult (18 years and over) | Patient information - 成人 (18歳以上) | 患者情報

患者、または法定代理人がこのフォームのコピーを熟読し、処置に対して質問する時間を十分に与えるために、このフォームのコピーが与えられます。患者向け情報シートは、患者の診療記録に追加記録されます。

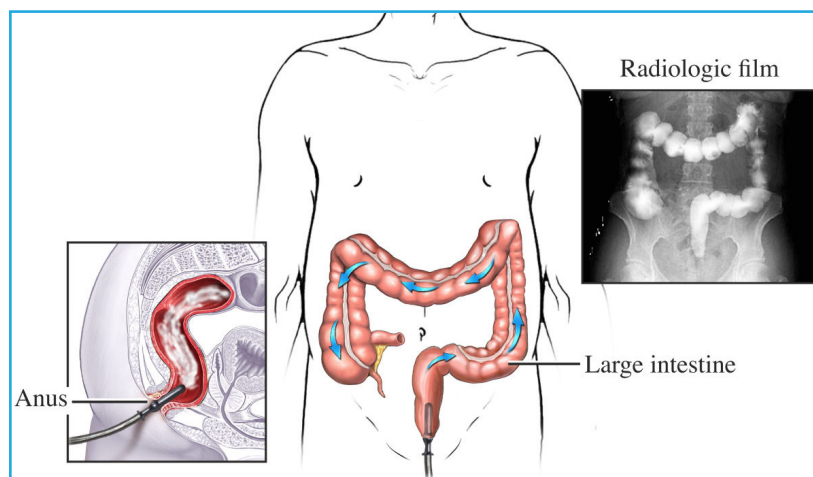


1. 造影注腸とは何か。また、それがどのように私（患者）の役に立つのか。

造影注腸とは、造影剤（かつてはX線不透過性色素と呼ばれていた）バリウム及びガストログラフィン®を使用するX線検査の手順の事です。浣腸は、肛門（直腸）から挿入されます。この手順は、大腸/腸（結腸）を検査します。

写真1: 造影注腸

Illustration Copyright © 2019 Nucleus Medical Media, All rights reserved.
www.nucleusmedicalmedia.com



処置の下準備

医療画像部門が、処置の下準備の説明を行います。

処置を正確に完了するために、腸が完全に空である必要があります。

処置の前に、腸を完全に空にするために、腸準備キットをもらいます。

もし、妊娠している場合、および妊娠の可能性がある場合はスタッフにお知らせください。

この処置には麻酔の必要はありません。

処置の間

小さな潤滑管が、優しく簡単に直腸に挿入されます。管の先の小さな風船が膨らみ、その位置を保持し、造影剤が漏れ出るのを防ぎます。

管を通して腸にゆっくり造影剤が注入されます。造影剤が、腸壁を覆うようにX線のテーブルの上で、動くように指示されます。これにより、腸がX線の映像としてスクリーンに映し出されます。時には、管を通じて空気が腸に送り込まれる可能性があります。X線写真が撮影されます。

X線映像がすべて撮り終わったら、管を通して腸の中の造影剤が排出されます。（できる限り）そして、直腸から管が取り除かれます。

腸への管の挿入時、または風船が膨らむ際に、不快感を感じるかもしれません。この処置の間、満腹感、および軽度の腹部のけいれんを感じるかもしれません。これは一般的です。けいれんによる不快感を消すために、筋弛緩薬が与えられることが時々あります。



2. リスクはありますか。

この処置には、リスクと合併症が伴います。また個人のコンディションや状況により特定のリスクがある場合があります。医師や臨床医にご相談ください。リスクは、以下を含みます。正し、以下だけに限定されません。

一般的なリスクと合併症

- 便秘 – 余分な水分および下剤を飲むことによって緩和されます。
- 下痢 – 脱水症状を起こす可能性があります。余分な水分を取ることで緩和されます。

一般的ではないリスクと合併症

- 処置は、医療または及び技術的な理由で行えない可能性があります。

稀なリスクと合併症

- X線被ばくによる、生涯での癌になるリスク
- 腸の穿孔。これには、抗生物質及び手術が必要になります。
- 腸からの出血。これには、ほかの処置及び/あるいは矯正手術; が必要になるかもしれません。
- ワルファリン、アスピリン、クロピドグレル(プラビックス、アイソカバー、コプラビックス)、プラスグレル(エフィエント)、ジピリダモール(ペルサンチンまたはアササンチン)、チカグレロル(ブリリンタ)、アピキサバン(エリクイス)、ダビガトラン(プラダクサ)、リバーロキサバン(イグザレルト)などの血液希釈剤、または、魚油やウコンなどの補完/代替医療薬を使用している方に、出血がより多く見られます。
- 菌血症血液中の炎症。コンサルタント、専門医以外の医師。
- 造影剤に対するアレルギー反応。これにより、発疹、蕁麻疹、かゆみ、吐き気、気絶、呼吸困難などが起こるかもしれません。これらを緩和する薬が出されるかもしれません。
- この処置による死亡の可能性は極めて低いです。

造影注腸を受けないリスクはありますか。

提案された医療、処置、研究、検査を受けないことによる影響があるかもしれません。医師や臨床医にご相談ください。



3. 代替の処置はありますか。

処置を受ける判断をする場合、患者または、代理決定人が受けられる処置全てを理解する必要があります。代替の処置について、医師や臨床医にご相談ください。



4. 処置後、どのような事が行われますか。

処置後、トイレに行くことが可能になります。処置後、便が白くなることがありますが、これは普通です。

便秘及び脱水症状を避けるため、処置後数日間は、十分な水を摂取することが重要になります。

病院を去ったあと、どんな安全性の問題がありますか。

具合が悪くなった場合、もしくは以下の症状が出た場合、最寄りの救急科またはかかりつけ医に行ってください。

- 排便または排尿に問題がある場合
- 腹部の圧痛及び/もしくは腫れ
- 重度の継続的な腹部の痛み
- 直腸からの出血(1/2カップ以上出血の場合)
- 発熱



5. 誰が処置を行いますか。

医師、臨床医および診断、検査が、サポートまたは処置を行います。これには、研修中の医師/臨床医を含みますが、すべての研修医/臨床医には、専門的ガイドラインに沿った監督が付きます。

もし、どの医師または臨床医が処置を行うか不安がある方は、医師または臨床医と相談してください。



6. どこでサポート、または詳しい情報を見つけられますか。

病院での看護(処置前、間、その後)は、クイーンズランドヘルスのウェブサイト www.qld.gov.au/health/services/hospital-care/before-after にて、ヘルスケアの権利について詳しい情報がご覧になれます。

また、血液希釈剤のリストを以下のウェブサイトでご覧になれます。 www.health.qld.gov.au/consent/bloodthinner 意書/血液希釈剤

スタッフが、患者の文化的、宗教的ケアをします。文化的、または宗教的サポートを受けたいと思う場合は、医師または臨床医にご相談ください。

クイーンズランドヘルスは、アボリジニとトレス海峡諸島の患者に対して、共同意思決定をする際に彼らの文化を考慮し、最高の臨床ケアを行います。



7. 質問

もしあなたが、この患者向け情報シートが理解できない、またはあなた自身もしくは患者の病状、治療のオプション、提案された処置/治療/調査/検査に疑問がある場合は、医師または臨床医にご相談ください。



8. 連絡先

緊急の場合は、000にご連絡ください。

緊急でないが、心配がある場合、24時間年中無休の13ヘルス(13 43 25 84)にお電話ください。